

平成 2 1 年国立市議会第 4 回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第 4 回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、定額給付金・子育て応援特別手当についてですが、10月13日をもって申請受け付けを終了いたしました。定額給付金は、全世帯の96.8%にあたる3万3,879世帯から申請があり、最終的に、合計10億8,040万8,000円の支給決定をいたしました。子育て応援特別手当は、対象世帯の99.6%にあたる771世帯から申請があり、合計2,847万6,000円を支給いたしました。

また、ドメスティック・バイオレンス被害者等に対して、国立市が独自に定額給付金及び子育て応援特別手当相当額を支給する、国立市ドメスティック・バイオレンス被害者等支援手当の申請受け付けについても、10月13日をもって終了し、定額給付金相当額は、6世帯に対し合計26万円、子育て応援特別手当相当額は、1世帯に対し3万6,000円を支給いたしました。

それでは、9月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、企画部関係です。

2010年度（平成22年度）の当初予算の編成状況ですが、2009

年度（平成21年度）から2011年度（平成23年度）実施計画と比較して、景気動向等を反映し、市税・使用料等の収入の大幅な落ち込みが見込まれることとなり、現在、枠配分予算編成方式により調整を行っているところであります。

次に、インターネット公売についてですが、厳しい財政状況における税財源の確保、税負担の公平性の観点から、滞納整理業務の強化を図る一環として、差し押さえ財産のインターネット公売を開始いたしました。

現在までに2回実施しており、花瓶・絵画・刀のつばなど、計56点を出品し、55点が落札されました。また、落札額としましては、予定額102万3,000円に対し、総額179万8,390円で落札され、総額から経費を除いた165万8,500円が税金に充当されました。

中には、予定額の10倍以上の値がついた出品物もあり、インターネットを利用することの効果の大きさを改めて実感したところであります。今後もインターネット公売等を活用し、徴収率の向上に努めてまいります。

次に、総務部関係です。

家具転倒防止器具支給事業についてですが、9月7日に受け付けを開始したところ、初日で予定数を大幅に上回る申し込みをいただきました。申し込みをされた方全員に支給できるよう、予定数を越えた分

につきましては、2010年度（平成22年度）の早い時期に支給させていただきます予定です。

次に、消防団関係についてですが、10月25日に第4回国立市消防団消防操法審査会を開催いたしました。天候不順の中、市議会議員の皆様をはじめ、多くの市民の方においでいただき、ありがとうございました。日頃の訓練の成果が発揮された有意義な審査会となりました。

次に、戸籍事務電算化事業についてですが、10月5日からコンピューターによる戸籍事務処理の運用を開始いたしました。これにより戸籍が見やすくなり、事務処理の迅速化も図られました。今後も、より一層の窓口サービスの向上に努めてまいります。

次に、健康福祉部関係です。

肺炎球菌予防接種の費用助成事業についてですが、高齢者の肺炎の中で最も多い原因である肺炎球菌による肺炎の発症や重症化を予防するために、10月1日から予防接種の費用助成を開始いたしました。11月16日現在、771人の方から申し込みをいただいている状況です。

次に、子ども家庭部関係です。

保育審議会についてですが、国立市の保育行政のあり方を検討して

いただくため、9月9日の第1回保育審議会において、「幼稚園・保育園の役割、公立・私立の役割等、保育運営体制の整備について」と「待機児解消に向けた定員計画及び保育サービスの拡充等を内容とした保育計画について」の諮問を行いました。現在までに3回の審議会が開催され、委員による検討・協議が続いており、年度内に答申をいただく予定となっております。

次に、生活環境部関係です。

谷保第三公園テニスコートの改修工事についてですが、人工芝の張り替えを8月末に完了いたしました。工事期間中、利用者の皆様にはご不便をおかけいたしました。9月からは、きれいに整備されたコートでご利用いただいております。

次に、ごみ減量のための取り組みについてですが、10月10日に「第11回環境フェスタくにたち」を開催いたしました。今年は、メインテーマを「わたしのエコから地球のエコ」とし、また、サブテーマを「マイエコ・マイはし・マイ食器」と掲げ、マイはし・マイ食器の持参を呼びかけました。その結果、模擬店利用者の、約2割の方が食器やはしをご持参くださいました。また、一部の模擬店では、リユース食器を使用して販売するなど、ごみの発生抑制が実現したイベントとなりました。

次に、都市振興部関係です。

企業誘致促進事業についてですが、10月15日にヤクルト本社中央研究所食品研究棟を指定企業第2号として指定いたしました。この指定は、市内企業の事業拡充支援策としては、事業開始以来、初めてとなります。

また、企業誘致については、行政単独ではなく、他市に先駆け民間企業の協力を受けながら進めており、11月24日現在、立地あっせん協力者は14社に達しております。この立地あっせん協力者の協力をいただきながら、11月24日現在、15件の不動産活用や企業立地希望情報をホームページで提供しております。

さらに、関連情報の提供用エントランスとして、先般、議員の皆様にも意見聴取にご協力をいただきました「企業誘致と地域プロモーション専用サイト」の構築に向けて努力してまいります。

次に、国立駅周辺まちづくり関係についてですが、国立駅周辺まちづくり基本計画（案）を、わくわく塾、出前説明会等により市民へ広くお知らせするとともに、関係機関等との協議を行いました。そこで頂いたご意見等を参考に、庁内検討会において内容の検討を行い、国立駅周辺まちづくり基本計画を策定いたしました。

なお、詳細につきましては、本定例会中の建設環境委員会に報告させていただきます。

次に、教育委員会関係です。

中学校での自転車安全教育についてですが、交通事故防止のため、警視庁交通総務課及び立川警察署のご協力のもと、10月19日から11月17日にかけて、スタントマンによる交通事故の再現、生徒による自転車実技を取り入れた自転車安全教室を実施いたしました。この安全教室は、市立各中学校において、全校生徒を対象として行ったもので、スタントマンによる交通事故の再現は、生徒にとって事故の恐ろしさを実感するものとなりました。

次に、第42回全国小学校理科研究大会東京大会についてですが、10月30日に、国立第五小学校を会場として開催され、全国から314名の参加者が集まりました。この研究大会は、今年度から創設した国立市教育委員会研究奨励校の発表と兼ねて開催したもので、第五小学校において「科学的リテラシーをはぐくむ指導の在り方」をテーマに、研究を進めてきた内容を発表し、全国及び市立小学校の理科教育の充実に資するものとなりました。

次に、府中市との図書館の相互利用についてですが、9月に両市で協定書の調印を行い、10月1日から相互利用を開始いたしました。このことにより、国分寺市との相互利用を合わせ、3市の蔵書は、合計で約230万冊の規模となり、市民の読書環境の充実が図られました。

終わりに、本定例会には、平成21年度国立市一般会計補正予算（第5号）案等13議案を提出しておりますが、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案及び教育委員の任命に伴う同意に係る人事案件2件につきましては、調整がつき次第、追加で提出する予定でありますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げ、行政報告といたします。

2009年（平成21年）12月1日

国立市長 関 口 博